

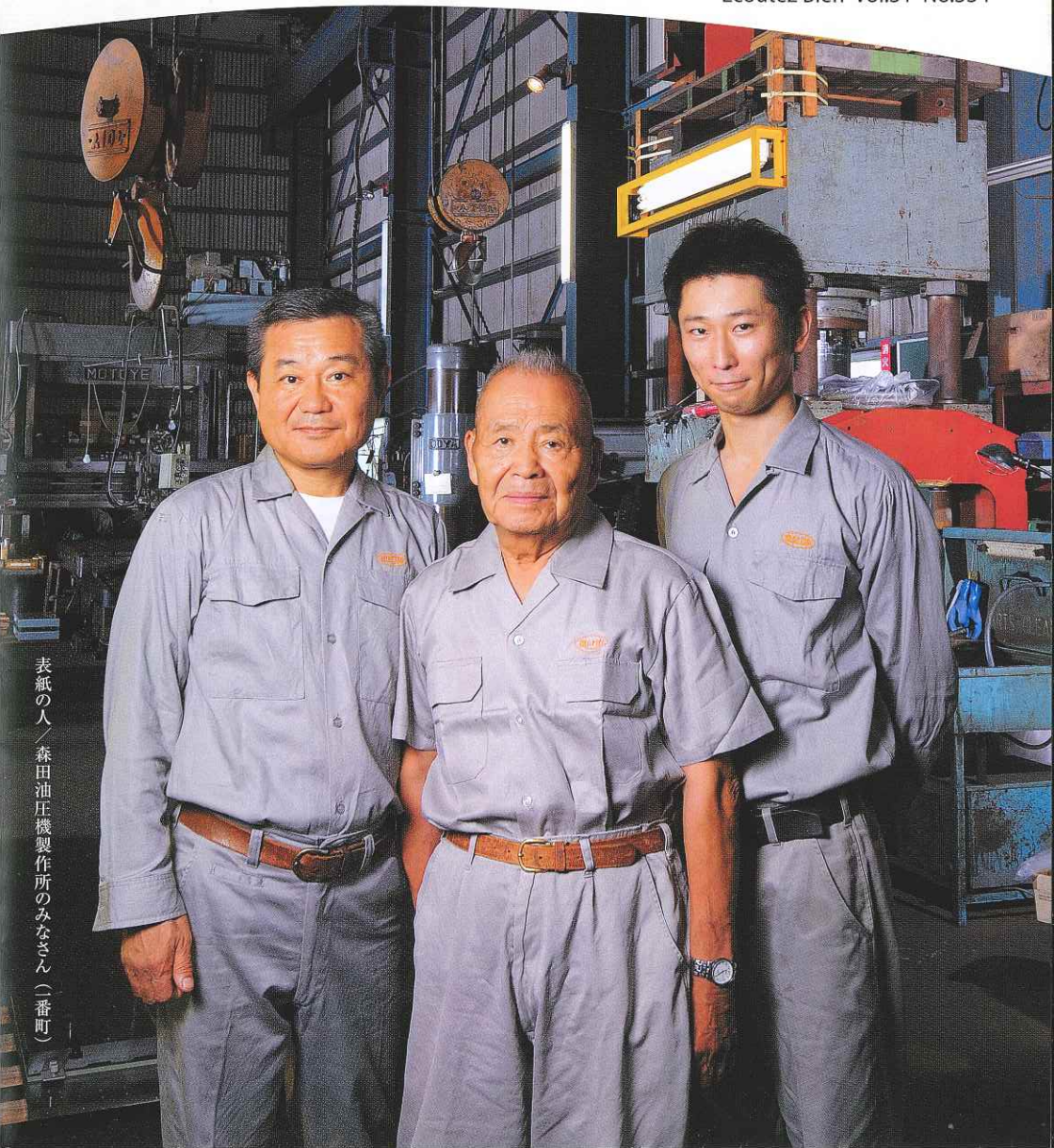
えびっぴん

9

立川と語ろう 立川に生きよう

September 2012

Écoutez Bien Vol.31 No.334



表紙の人／森田油圧機製作所のみなさん（番町）

大正時代の 立川駅北口界隈

語り：故・岡崎清平さん

(平成15年夏にインタビュー)

加速しながら変化する立川の街。
昔があって今がある。今の立川が当たり前。
でも、一瞬立ち止まって、積み重ねられた歴史に
耳を傾けてみれば、今まで見えなかった立川が見えてくるかもしれない。

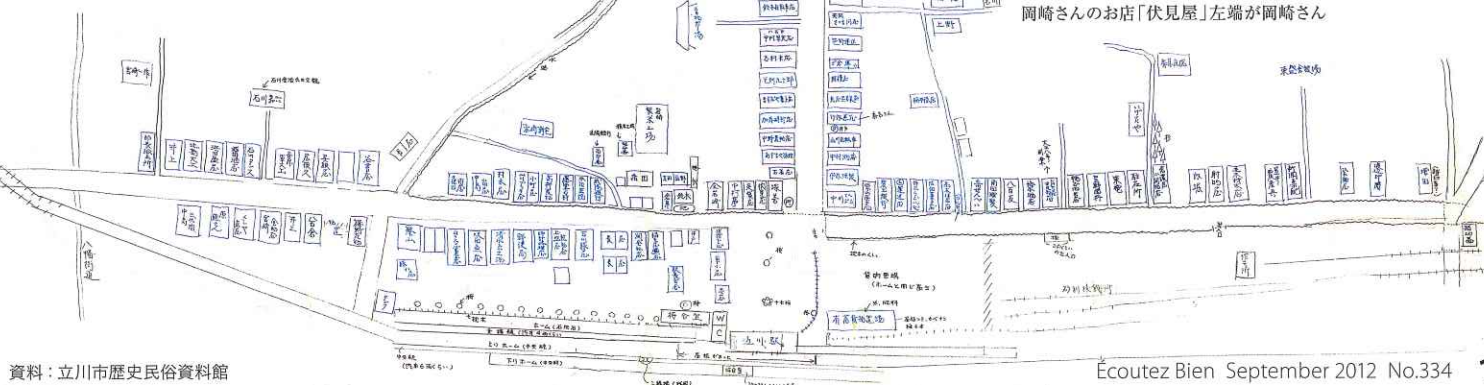


「まったくしょうがねえな(笑)。なんか書いとくと証拠になっちゃうから。なあ、こうだったなあと言う相手がいない。いい加減なこと言うと、それが歴史になっちゃうから困っちゃうよな」

岡崎さんは明治43年3月28日生まれ。「小学校で呼ばれる時、生年月日だといつも後ろから2番目くらいだったね。」インタビューは93歳になって間もない時。「仲間はみんななくなっちゃって、口がさけるだけいいと思ってくれない」と笑いながら、記憶の糸を手繰ってくれた。

岡崎さんの書いた地図

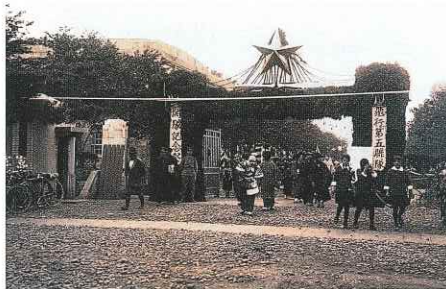
大正5.6年ごろ
岡崎清平自作図
(1914.12.9)



資料：立川市歴史民俗資料館

大正11年。この年は、今の立川を形作ったとも言える年。陸軍の飛行場ができて、岐阜県各務原から飛行第五大隊が移駐してきたのだ。この時から立川は「空の都」と呼ばれるようになる。大正13年に、飛行第五大隊は第五連隊へと昇格。陸軍飛行第五連隊は大正14年5月に近衛飛行第五連隊と改称された。飛行場ができる前から北口に住んで商売をしていた岡崎家。空の都になる前の北口地図を広げて昔を語る。

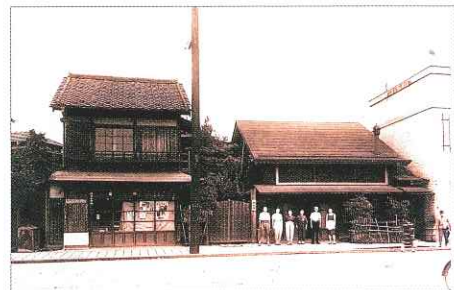
角にあった料亭の塚善は調布に本店があって、立川は第一塚善という支店だった。電柱の横にある柳の枝が裸線に触れてピカピカ光って、お化けがでるの幽霊がでると騒ぎになった。



飛行第五連隊 開隊記念祭

「塚善の西側で親父が足袋屋をやってたんです。親父は水商売に向いてる男じゃなかったけども、お袋がやってだんだん盛んになってきて、そのうちに芸者屋ができたりなんかして。料芸会って、料理と芸者で料芸会ってというのができたりなんかして。ほいで首突っ込んで会長になったりしたけれども、本人は料理屋なんていうのは全然ダメでね。婆さんがお茶屋をやってたんだけど、下がるってんで私とお袋が料理屋を始めたんです。私は修行なんてほどのことはやってないけど、渋谷まで行ってきました。恵比寿ね。(腕刺酔の物カツに数の子)っきり出さないけれど、このくらいでもう料理屋ですよ、当時は。カツは角のクボタまで素っ飛んでって、うちで揚げてね。あの頃はクボタと仲町の石川って肉屋さりなかったけど、あたしなんかクボタとしか付き合ってた。戦後、クボタの肉はおいしいって都内からも人が来たっけね。婆さんが腕がよくなって。中央線ができてあちこちから寄り合ってきたのが立川の北口だからね。地元の人なんてのはいくらもない。あたしも元は府中です。当時の料理屋のお客は、砂川の人が主でした。養蚕や桑苗の人たちね。」

(次号へつづく)



岡崎さんのお店「伏見屋」左端が岡崎さん

太鼓で国際交流

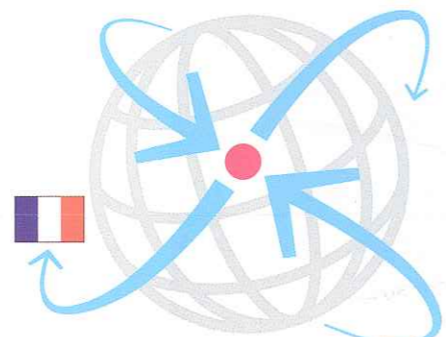
FRIENDSHIP MARATHON TACHIKAWA-NOUMEA

立川シティハーフマラソンと姉妹提携している
ニューカレドニア国際マラソン。
第30回開催を祝して、
立川から和太鼓「趣」がヌメアを訪れた。
民間の国際交流に心意気を感じた。



オーストラリア

ニューカレドニア



ニューカレドニアに行く前の特訓



後列左から2人目 細川みきさん、3人目 平光正則さん、
後列中央 奥住秀樹さん

立川市の協力でニューカレドニアに国際マラソンが実施され、今年で30回を迎える。記念すべき30回に何かお祝いしたいと、ニューカレドニア・たちかわ友好交流委員会代表の平光正則さんが声をかけたところ、即答で引き受けてくれたのが和太鼓「趣」だった。「趣」は平成18年に創立。第六中学校の1部屋と体育館を基盤に活動している。趣味の会から始まったので「趣」と会長の細川みきさんは笑いながら話す。

数々のイベントに呼ばれスケジュールはびっしり。ニューカレドニアはもちろん、砂川七番組夏祭り、立川よいと祭り、十小サマースクール、社協イベント、砂川六番組夏祭り、国立あおやぎ苑イベント、曙夏祭り…と連日の出演依頼。それ以外にも被災地のためのチャリティー演奏を繰り返し、その義援金を被災地に届けることを続けている。今回も、平光さんの依頼を快く引き受けて、参加メンバーは練習を重ねてきた。

7月25日。ヌメアに向けて一行は出発。「後は頼んだぞ!」と留守中のイベントを若いメンバーに託す奥住秀樹先生。

ニューカレドニア国際マラソンは、7月29日に開催された。



第六中学校体育館での練習



老朽化した山中倶楽部返却で

一八〇年の歴史をもつ天王祭
今年が最後
かもしれない

天保年間から始まったといわれる富士見町五の南町会「天王祭」。
集会所や倉庫として町民に親しまれた山中倶楽部。
持ち主に返却することで、この形でのお祭りは今年が最後になった。
他に類をみない温かいお祭りを記録する。



山中倶楽部



普段1階は倉庫として使用している

富士見町五の南町会会長
五十嵐盛三さん



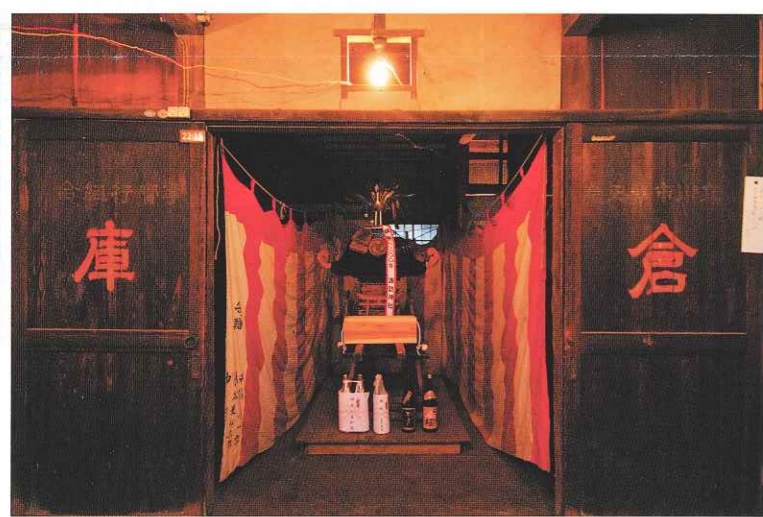
牛頭天王の「天王」が由来だというのだからすごい。歴史あるお祭りは、山中と呼ばれた集落の住民によって支えられてきた。五十嵐、鈴木という姓が多い。「五十嵐会長はどちらにいらつしやいますか?」と尋ねれば、「五十嵐は多いから、盛三さん」とあの辺りで叫んで下さい」と返ってきた。

お祭りが行われるのは細い路地。ところが旧奥多摩街道の陸橋ができるまでは、この通りが諏訪神社や横町、新屋敷（現在の柴崎町）に抜けるメイン通りだった。言わば、山中の「銀座通り」。今になってみれば、どうしてこんな所?と思うかもしれないが、目抜き通りでお祭りをするのは当然だ。

天保の飢饉をしのいだ山中氏子中は、二度とこんな災いを招かぬようにと願いを込めて八幡宮再建に奉納職を作る。
天保九戊戌歳、奉呂吉日新献
幡山生芳草
滴水潤蓋郷



手作りの万燈を先頭に町内を練り歩く



山中倶楽部一階の倉庫にお神輿が祀られる



四つの獅子頭。天保九年、拝島の彫物師に依頼したらしい。

大正初期の地図
諏訪神社へ抜けるメイン通りだったことがわかる



「山に旗が翻って香ばしい草が生い繁り、清らかな水は全村をうるおす」という村人の願いを護る四つの獅子頭。一つ一つ異なる表情。くり抜きの技で彫られており、口の中に鈴が入っているがどうやって入れたのかはわからない。二棹の奉納職の左右に棹木止として飾り、邪気を払った。今では職は立っていないが、神輿を祀る山中倶楽部の入口を四つの獅子頭が護っている。

住民が協力し合って続けた「天王祭」。諏訪神社の年間行事にも組み込まれている「夏祭り」だ。山中倶楽部返却という時代の流れを、どう乗り越えていくのだろうか。

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。
 今月は 柴崎町・富士見町・緑町 のお店です。

- 柴崎町**
- (株) 正盛堂.....522-2328
 - いなりすし・のり巻きすし 松月 523-4758
 - 小林歯科クリニック.....527-8217
 - ビューティーサロン ウィスタリア 527-1116
 - オリオン書房 サザン店.....525-3111
 - ステーキ&ハンバーグのお店 WISH BONE 527-7199
 - 三船クリニック.....523-6693
 - 西武信用金庫 立川南口支店 529-1311
 - たましん 南口支店.....528-2211
 - りそな銀行 立川支店.....522-4161
 - オリオン書房 アリア店.....521-2211
 - ほっとすべーす 中屋.....522-2932
 - 立川ワシントンホテル.....548-4111
 - サンカメラ.....522-3336
 - Coffee Shop LARGO.....525-6704
 - パッケージプラザ カサイ.....522-8601
 - (株) けやき出版.....525-9909
 - 手づくり ぎょうぎ工房.....522-4770
 - みどりっ子 立川店.....521-6688
 - 喫茶 ギャラリー花.....524-3668
 - 矢沢歯科・眼科.....525-6601
 - ラ・フリーズ シュクレ.....525-3513
 - 京王ストア 立川店.....540-1131
 - 武本測量(株).....524-7731
 - 立川市柴崎市民体育館.....523-5770
 - NPO 法人 東京 賢治の学校 523-7112
- 富士見町**
- (株) 浅見酒店.....522-2823
 - 伊藤接骨院.....524-7861
 - カット・スペース.....523-8619
 - cafe こもれば家.....526-2506
 - 手作りケーキの店 ティ・パニエ 529-8364
 - さえき 西立食品館.....529-5333
 - (株) ヤマダ電機(法人).....526-1044
 - ヤマダ電機.....526-1099
 - ダイクマ 立川店.....526-1099
 - 西村歯科クリニック.....519-9501
 - 井上レディースクリニック.....529-0111
 - 中華レストラン 東華園.....529-0458
 - 榎本調剤薬局.....526-2322
 - 有料老人ホーム サンピナス立川 527-8866
 - 飯塚花店.....522-5684
 - うさぎ専門店 ラッキーラビット 524-6054
 - (株) ホーミー.....522-2220
 - カフェ・貸しホール ばくだん畑.....522-2214
 - Cafe Cuisson.....090-6935-1227
 - (有) 白洋舎.....522-5952
 - 波多野米店.....522-2884
 - 立川市社会福祉協議会.....529-8323
 - 桜井電材(株).....523-5281
 - 立川市歴史民俗資料館.....525-0860
 - 乙黒東洋整骨院.....523-1859
 - インテリア アイアイ.....522-5972
 - たましん 富士見町支店.....528-1741
 - 滝ノ上米店.....522-4019
 - 酒 ESPOA おさの.....522-4500
 - (株) 立川印刷所.....524-3268
 - 調剤薬局 団地の薬局.....524-4893
 - フラワーショップ コミ.....525-5198
 - 松栄寿司.....524-6958
- 緑町**
- 陸上自衛隊 立川駐屯地.....524-9321

おじゃましま〜す! [5]

得得屋

小皿料理で種類も量もバッチリです

横浜中華街に16年、立川のグランデュオにあった随園別館で料理長という経歴の王さん。お客様に感謝を示したいと、お値段も量も食べればビックリの小皿料理で腕を振ります。小皿60品目が全部300円。単品650円の五目炒飯は、食べきれないかしら?と思うほど山盛りです。各種宴会は22名様からだそうで、コースも3種類、なんとお1人様1700円からあります。2980円のコースには、北京ダックもついてくる! このコース以外にも予算や好みの料理などがままもきいてもらえそう。飲み放題は2時間で別途880円。

と、お金のことばかり書いているようですが、みんなの興味は値段と味! 安くておいしいときけば、うれしいですね! しかも年中無休で、休憩なし! 働き者の王さんご夫妻のお店です。



立川市柴崎町 2-9-27
 1F
 TEL 042-528-1060
 年中無休
 11:00 ~ 23:00

[6]

Vigorosso

ピザ生地選べます



ピザの生地が選べるのは、立川ではここだけ! バリッパリの薄いローマ風に対して、ふっくらモチモチのナポリ風。種類も豊富。ペペロンチーノをローマ生地ですら、香ばしくて軽く、ピリ辛がやみつきになっちゃいます。4種類のチーズが絡むクワトロフォルマッジ。ゴルゴンゾーラが効いてます。もちろんパスタや肉料理、魚料理も忘れちゃいけない。メニューを見てよくわからなくても、はずれはないので大丈夫! サラダもお勧め。わ〜、きれい! って、彩り野菜についてい笑顔がこぼれます。

イタリアンは軽快に、楽しく、おいしくいただきたい。でも、落ち着いた雰囲気も大事だと思う方は是非。オーナーシェフの大脇さんご夫妻のイメージそのままに、スタイリッシュなお店です。

立川市柴崎町 3-10-5 FMビル 2F TEL 042-512-7750
 火曜、第三月曜日 定休
 ランチ 11:30 ~ 14:30 (L.O. 14:00)
 デイナー 18:00 ~ 23:00 (L.O. 22:00)



街の話題

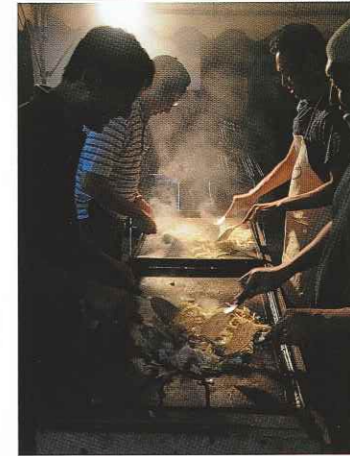
お祭りシーズン

盆踊りや花火大会、夏は楽しいイベントがめぐる押し。立川市内でも各町会でそれぞれに納涼会や夕涼み会、お祭りがおこなわれています。いまではすっかり人間中心のイベントですが、お祭りの起源をたどれば、神様あつてのものでした。立川には1200年の伝統を持つ諏訪神社を始め、砂川の新田開発に祀られた阿豆佐味天神社、防火の神様が祀られる芋久保村の鎮守だった愛宕神社があります。最近ではお神輿も担ぎ手が少なくなって担げない、子ども達が塾やら部活やらで忙しくて集まらない。そんな声をよく聞きます。時代の流れなのでしょうが、諏訪神社の伝統芸能「獅子舞」も、後継者を募るのにご苦労があるのだそう。こんな様子を神様たちはどんな風に見ているのだろう、と思いながらお祭りを回りました。



7月の富士山

富士山はいつでも見えるものと思っている方、それはちょっと違います。年間通してみると、7月は富士山の見える日が一番少ないのだそうです。そんな7月16日。なんと朝から富士山がすっきりと見えているではありませんか。この日の夕焼けはまたすばらしく、ネット上ではちょっとした話題になっていました。もちろんえくてびあんでも撮影しましたので、ご覧下さい。



表紙の人

森田作三さん、榮作さん、哲也さん

油圧のプレス機を主に作っています。注文に応じて図面を引いて設計からするのだからメーカーです。でき上がった機械には「morita」の文字。責任の印です。なんだかすごくかっこいい! 工場って「仕事場」って感じですね。



かたこと

◆森田油圧機製作所さん。えくてびあんが工場を訪れたのは初めてかもしれません。いろいろ説明をうかがって、へ〜とかなるほど!とかどうして?とかいろいろあって、すごく楽しい時間を過ごさせて頂きました。◆砂川七番駅からお祭り会場まで「八雲神社」と書かれた万燈が。八雲神社?どこにあるのですかと尋ねると、「このお神輿が神社なの」という説明。砂川にはそういう神様が他にもあるのだそうです。いつも思いますが、立川は足を運んでわかることばかり。◆「蔵出し立川」は今号から連載する新企画。写真に第一デパートを選びました。昔を知って、今を生き、未来につないで参ります。岡崎さんは本当にいろいろなことをご存知で、口調がとても粋でした。これから先、どんな方が登場するか、皆さまどうぞお楽しみに。◆「パンのある風景」が再開です。公募原稿で構成してまいります。今回は大阪からのネット投稿。昭和天皇記念館さんは、昭和天皇に同行した竹下中将の日記からこの日の記録を探して下さいました。えくてびあんは皆さまに支えられて今号も無事発行することができました。感謝で新企画もがんばります。

「FMたちかわ&立川南口特集号」増刷しました

えくてびあんでは折々特集号や特別号を発行しています。今回は、柴崎町アレアレアのスタジオから街情報を流しているFMたちかわと柴崎町を特集してみました。初刷があっという間になくなってしまったので、表紙や内容を少し変えて刷り増しました。現在立川市内各所で配布中です。どうぞお手にとってご覧ください。



えくてびあん◎

9月号 第31巻 通巻334号

平成24年9月1日発行
 発行 有限会社えくてびあん
 〒190-0023
 東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
 TEL 042-528-0082
 FAX 042-528-0065
 E-mail message@tamatebakonet.jp
 URL www.tamatebakonet.jp
 発行人 黒須 環
 企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
 デザイン 池田隆男
 (WATER DESIGN ASSOCIATES)
 印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。

jorakugajo

真如苑提供番組〈常楽我浄〉

スカイパーフェクTV: 216ch
 マイ・テレビ アナログ: 11ch
 デジタル: 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp



「皇太子裕仁、スコットランドにおける情景」

（「昭和天皇第二部、英国王室と関東大震災」福田和也著、文春文庫刊より）

昭和天皇、戦前は帝国主義の象徴として、戦後は民主社会の国民の象徴としてのイメージが強いが、本質は一貫し自らを空しく滅して国家、国民の安寧を祈り続けてきた方である。そんな彼の人にも皇太子時代、東の間の平穏なひと時があった。以下は大正15年、欧州にご巡幸、最初の訪問国、大英帝国のスコットランドに滞在していた時のエピソード。

訪問先のスコットランド、ブレアソール地方の貴族、アソール公に豊かな森と草原が広がるタンメル湖畔に案内され、共に芝生に座した。

「アソール公がブリキのコップを裕仁に手渡した。（中略）水筒から熱い紅茶を注いでくれる（中略）もてなしはすべてこのような具合で心はこもっているのだけど、殊更な感じは全くしない。無理をしたり立派に見せようともしない。自分たちのいつもの暮らしの中で出来る限りの事をする。その堅実でしっかり地に足のついている感じがいかにも心地よい。胡瓜のサンドイッチ

とマフィンがふるまわれた。

どこかで鳥が高く鳴いている。」

胡瓜のサンドイッチ、そしてマフィン。この日常的なパンが国家、民族、イデオロギーが違う人同士の橋渡役となり、情景に自然に溶け込んだ融和で平和な時をかもし出す。15年後におこる不幸な出来事はこの時二人の間に思い浮かばなかったに違いない。昭和天皇はこのほんのひと時を忘れることが無かったのではないか。昭和という激動の時代に、人々を困難な状況から救い出す大きな使命を負い、その使命を終え、今は多摩の地に静かに眠り、又再び静かに人々を見守っている。

サンドイッチとマフィン、今では身近なパンであるが、今度は昭和記念公園で食べてみようかなと思う。

末久弘知（大阪府寝屋川市）